

2025 年度留学生ライティングサポートデスク 利用案内

留学生のみなさまの学修をサポートする制度として、「大学院チューター制度」と「留学生ライティングサポートデスク」の2つの制度があります。「留学生ライティングサポートデスク」は、課題・論文作成における日本語表現に特化した指導を行います。（2つの制度の違いは、5を参照してください）

1 相談できるもの

- (1) 学位申請論文（修士論文、博士論文）執筆の際の日本語表現に対する指導
- (2) 授業において課されたレポート等における日本語表現に対する指導

2 対象者：大学院の外国人留学生のうち、以下に該当する方

- ・修士課程在学学生（休学中の者を除く）
- ・博士後期課程在学学生（休学中の者を除く）
- ・研修生（委託研修生や特別研修生を含む）
- ・研究生
- ・研究員

*科目等履修生および専門職大学院生は対象ではありません。

*外国人留学生には留学ビザ以外の方も含みます。

*特殊事情がある場合には外国人留学生以外の学生も利用可とします。その場合はご相談ください。

3 スケジュール

(1) 実施期間：授業期間中の授業実施日

春学期：2025 年 4 月 8 日～7 月 22 日 秋学期：2025 年 9 月 23 日～2026 年 1 月 14 日

(2) 実施曜日・時間・担当者

*年度途中に変更される場合もありますので、予約システムのカレンダーから最新の指導スケジュールを確認してください。

曜日 時限	時間 (1 回 50 分)	担当者名・指導方法
火曜日 3 時限	13:10～14:00	鈴木先生（原稿添削 又は 対面指導 大学院棟 702 教室）
	14:00～14:50	
火曜日 4 時限	15:00～15:50	鈴木先生（原稿添削 又は 対面指導 大学院棟 702 教室）
	15:50～16:40	
水曜日 3 時限	13:10～14:00	上田先生（原稿添削）
	14:00～14:50	

*（原稿添削 or 対面指導）の場合、予約システムから希望する指導方法を選択することができます。

*上田先生の指導は利用者の多い月に合わせて調整することがあります。最新のスケジュールは予約システムをご確認ください。

*鈴木先生へのオンラインによる対面指導を希望する場合には、予約システムで予約をした上で、前の週木曜日までに 6 問合せフォームよりご相談ください。

4 利用方法

原稿添削の場合

①前日までに予約システムから予約してください（当日予約はできません）。

URL : https://www4.revn.jp/nihongo_yoyaku/

ID : 学生証番号 7 桁、 パスワード : 生年月日 8 桁（例 19990401）

②予約日の前日 23 : 59 までに、添削してほしい原稿(Word 形式) 4000 字を上限に提出してください。

◆原稿提出方法 : Google フォームから提出

<https://forms.gle/ZmLZpwcSuZUj5HfR9>

- ・原稿文字数上限 : 4000 字 (10.5 ポイント、40 字 x40 行の場合 A4 サイズ 2 枚半)
- ・ファイル名 : 「(日付) (予約時間) 論文名 (氏名) .doc」 としてください。
例 : 4 月 1 日 8 時 50 分からの場合 「(0401) (0850) 考察第一章(氏名).doc」
- ・原稿の文字数が 4000 字以内でも、50 分で添削可能な範囲までの添削となります。
- ・原稿の文字数が多い場合には、1 コマでの指導上限文字数(4000 字)に区切ってください。

③担当者が予約時間に添削した原稿を大学院課よりメールにて返送します。

対面指導の場合

①事前に予約システムから予約してください（空いていれば実施時間の直前でも予約可能です）。

URL : https://www4.revn.jp/nihongo_yoyaku/

ID : 学生証番号 7 桁、 パスワード : 生年月日 8 桁（例 19990401）

②予約した日時に、印刷した原稿を 2 部持って、**大学院棟 702 教室**にお越しください。

◆指導を希望する論文等の原稿は自分用と先生用の 2 部をご準備ください。50 分で添削可能な範囲までの添削となります。

PC で画面を見ながらの指導はおこないませんのでご注意ください。

5 チューターとの違いについて

「大学院生チューター制度」は、主として同じ研究科の予め指定された上級生の院生（チューター）が、下級生院生に対する研究上・学習上の助言（レポート作成支援など）や、大学院生活への適応に関する助言を行うものです。一方、この「留学生ライティングサポートデスク」は、授業内課題・学位申請論文作成における日本語表現に特化した指導を行います。

日本語表現の指導は授業内課題や学位申請論文作成を主としています。その他の私的な文書に対する日本語表現の確認・助言や日常会話の指導、日本語の翻訳を請け負うものではありません。

6 問い合わせフォーム

<https://forms.gle/WsFC36zJYnnkzKA16>